

平成30年度(平成29年度事業分)周南市事務事業評価シート

事務事業コード		事務事業名	水道事業の経営健全化推進			
担当部・課名	上下水道局 財政課	評価者(課長)	徳原 克志	評価責任者(部長)	井筒 守	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり総合計画・前期基本計画における位置づけ	施策コード	600501	分野	6都市基盤	事業の分類	(ソフト事業)
	基本施策	5水道の安定供給と下水道の充実			補助・単独の別	単独
	推進施策	(1)経営の安定化			会計名	11水道事業会計

事業の目的(対象)	水道事業	事業の目的(意図)	持続可能な事業運営を行う
事業の内容(手段)	毎年度定期的に事業内容を検証・精査し、経常経費や投資的経費の縮減を図る		

【実施内容】 Do

事業目標	指標名	指標説明	単位	年度	28年度	29年度	30年度
					目標値	実績値	達成度(%)
経常収支比率		総費用が総収益によってどの程度賄われているかを示す。比率が高いほど収益性が良いとされる	%	目標値	107.6	110.0	107.3
				実績値	112.7	111.5	
				達成度(%)	104.7%	101.4%	

事業費	項目	単位	28年度	29年度	30年度(予算)	31年度(予算)	32年度(見込)
	直接事業費(予算額)	千円					
	うち一財	千円					
直接事業費(決算額)	千円					対30年度増減理由	対31年度増減理由
	うち一財	千円					
	正職員人件費	千円	23,446	23,578			
	人工数	人	3.20	3.20	3.20		
	支出コスト	千円	決) 23,446	決) 23,578			

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	料金収入が減少傾向にあるとともに、大量の資産が更新時期を迎えていることから、効率的で効果的な事業を推進するため、実施計画の見直しを行っている 平成27年度には経営健全化計画を策定した	課題・問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 簡易水道の統合により、さらに経営状況が厳しくなることが予測されることから、徹底した取り組みによる一層の健全化が必要
	評価	B	A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由
	事務事業の方向性	経営健全化に向けた職員の意識付けを徹底し、実施計画の見直しを予算に反映させるとともに、経費節減を図る	評価責任者コメント	経営健全化計画目標達成向け、企画調整課との連携を図りつつ、短期的な実施計画のローリングを行うことが重要である。

【改善】 Action

平成31年度当初予算等での改善結果(平成31年度当初予算への反映など)	備考
熊毛・鹿野地区の料金統一等により、一般会計補助金を削減 建設改良費については、優先度の高い事業を計画的、効率的に実施することとし、H30年度策定の水道ビジョン(経営戦略)に基づいて予算額を計上した	

【事務事業を構成する細事業(H29年度事業分)】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否	正職員	臨時等	
①	経常収支比率の安定確保	収益性の安定確保	効果的な資金運用等による収入の確保、民間活力の導入や利息の削減等による支出の抑制	否	1.60		
②	事業運営の見直し	経営の安定化を図り、持続可能な事業経営を推進する	事業費の平準化や事業内容の検証・精査を行い、実施計画、財政計画を見直す	否	1.60		
③							
④							
⑤							

平成30年度(平成29年度事業分)周南市事務事業評価シート

事務事業コード		事務事業名	下水道事業の経営健全化推進			
担当部・課名	上下水道局 財政課	評価者(課長)	徳原 克志	評価責任者(部長)	井筒 守	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり総合計画・前期基本計画における位置づけ	施策コード	600501	分野	6都市基盤	事業の分類	(ソフト事業)
	基本施策	5水道の安定供給と下水道の充実			補助・単独の別	単独
	推進施策	(1)経営の安定化			会計名	12下水道事業会計

事業の目的(対象)	下水道事業	事業の目的(意図)	持続可能な事業運営を行う
事業の内容(手段)	毎年度定期的に事業内容を検証・精査し、経常経費や投資的経費の削減を図る		

【実施内容】 Do

事業目標	指標名	指標説明	単位	年度	28年度	29年度	30年度
					経常収支比率	総費用が総収益によってどの程度賄われているかを示す。比率が高いほど収益性が良いとされる	%
				実績値	104.2	102.8	
				達成度(%)	98.3%	97.4%	

事業費	項目		単位	28年度	29年度	30年度(予算)	31年度(予算)	32年度(見込)
	(予算額)	直接事業費	千円					
	うち一財	千円						
(決算額)	直接事業費	千円					対30年度増減理由	対31年度増減理由
	うち一財	千円						
	正職員人件費	千円		30,773	23,578			
	人工数	人		4.20	3.20	3.20		
	支出コスト	千円		決) 30,773	決) 23,578			

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	大量の資産が更新時期を迎えているとともに、使用料収入の減少が見込まれることから、効率的で効果的な事業を推進するため、実施計画の見直しを行っている 平成27年度には経営健全化計画を策定、平成28年度には経営戦略を策定した	課題・問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 今後の施設更新に備え内部留保資金を確保しながら、一般会計繰入金金の削減を図る必要がある
	評価	B	A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由
	事務事業の方向性	経営健全化に向けた職員の意識付けを徹底し、実施計画の見直しを予算に反映させるとともに、経費削減を図る	評価責任者コメント	経営健全化計画及び下水道経営戦略の目標達成向け、企画調整課との連携を図りつつ、短期的な実施計画のローリングを行うことが重要である。

【改善】 Action

平成31年度当初予算等での改善結果(平成31年度当初予算への反映など)	備考
内部留保資金の活用等により、一般会計からの基準外繰入金を削減した	

【事務事業を構成する細事業(H29年度事業分)】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否	正職員	臨時等	
①	経常収支比率の安定確保	収益性の安定確保	効果的な資金運用等による収入の確保、民間活力の導入や利息の削減等による支出の抑制	否	1.60		
②	事業運営の見直し	経営の安定化を図り、持続可能な事業運営を推進する	事業費の平準化や事業内容の検証・精査を行い、実施計画、財政計画を見直す	否	1.60		
③							
④							
⑤							